

# 第 8 次 韮崎市総合計画策定に向けた

## 調査報告書

～女性懇話会 編～

# 1

## 女性懇話会の概要

### 目的

○ 蕪崎市の最上位計画「蕪崎市第8次総合計画」の策定に向け、女性の視点やアイデアを知る機会のひとつとして、女性の暮らしや課題について、課題やニーズ等生の意見を聞き出す場とし、女性・子育て支援施策の検討に活かすため、開催しました。



### 開催日程

開催日	テーマ	開催場所	参加人数
令和8年2月7日(土) 10:00~12:00	<u>「まちと私のちょうどいい関係」(女性対象)</u> ・今の蕪崎市の困り事、その原因と理由 ・未来に向けたアクション	ニコリ1階 会議室6	11人
その他懇話会↓			
令和8年2月13日	<u>「若者が“働く・暮らす”をリアルに考える」(若者対象)</u> ・若者の市内定着と回帰 ・郷土愛の醸成 など	市役所別館 301 会議室	-
令和8年2月17日	<u>「にらさき学生アイデア会議～蕪崎の未来の話をしよう～」(中高生対象)</u> ・蕪崎ってどんなまち(どんなところが好き?困っていることは?) ・どんなまちなら住みたい(居場所づくり・活躍できる場作りなど)	青少年育成 プラザ Miacis	



参加者

市民ワークショップの参加者は、一般公募により募集を行い、**市内で活動する実践者、学生、Uターン・Iターン者**など多様な立場のメンバーによって構成されました。

当日の流れ



○ 蕪崎市開会挨拶

○ アンケート結果の提示

○ アンケート結果を踏まえ、いま陥っている状況、またその原因や理由を深掘り

3. 懇話会 懇話内容①

②生活環境全般

住み続けたくない理由

住み続けたくない理由は、「買い物不便」と「交通の不便が高い」

○ 市内で活躍する実践者の事例を紹介

3. 懇話会 懇話内容②

ランダムプレゼン 紹介

■子育て支援センター 内藤香織さん ■女性団体連絡協議会 浅川節子さん

○ 個人の「やりたいこと・得意なこと」を入口に、どんな未来が良いか、自分なら何ができるか意見交換

○ 意見のまとめ

## 2

## 女性懇話会の結果

	困りごと	未来に向けたアクション
介護・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「夫の介護しているがシニアケアは自分の体力が心配」</li> <li>▪ 県外への通院も多く「往復約 4 時間ぐらい」</li> <li>▪ 夫が「自由に体を動かすことができない状態」</li> <li>▪ 「ヘルパーさんお願いしようかな」</li> <li>▪ 「社会的な支援を受けるのはどの辺が境界なんだろう」</li> <li>▪ 「ケアマネさんをお願いして相談しているが、やっぱりカバーしきれない」</li> <li>▪ 食事づくりも負担</li>   <li>▪ 地域食堂「みんなやりたい気持ちはあるけど場所と準備金がない」</li> <li>▪ 近所のおじいちゃん・おばあちゃんがどんどん入ってきているが、その人たちの家族も離れた場所にいるなかなか助けられない。</li> <li>▪ 高齢者は毎日おんなじ生活をしていてつまらないと感じているよう</li>   <li>▪ 福祉は「お金にならない」</li> <li>▪ お母さん特に働いていない方はお金を持っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 介護までとは言わずとも送迎や買い物など地域の若者を巻き込んで高齢者の方々に支援できたらいい</li>   <li>▪ 若者を巻き込む高齢者支援</li> </ul>

	困りごと	未来に向けたアクション
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「今すぐ必要なのは不登校支援」</li> <li>▪ 「お母様に負担をかけたくない」</li> <li>▪ 「助けてあげたい」</li>   <li>▪ 共働きで児童館に預けたが子供たちが「行きたくない」「家に帰りたい」</li> <li>▪ 児童館は「規則が厳しい」、「あれしちゃうダメ、これしちゃうダメ」</li> <li>▪ 子どもは「楽しくない」</li> <li>▪ 親としては「子供を安全に見てくださるのは感謝」している</li> <li>▪ でも子どもの意思を尊重し退職してしまった</li> <li>▪ 子供により興味も異なるし児童館の人数も多いので、複数の施設の中から「選べる」ようになれば</li> <li>▪ 「責任問題とか言わずになんでもやらせてくださいみたいな人に預けられたら」</li>   <li>▪ 実践者の立場からみて「にらちび」で遊べるのは良い。</li> <li>▪ 「にらちび」は、土日にたくさんの幼稚園・保育園の父母が来て手放しで触れ合う機会を与えたい。</li> <li>▪ 子育ては「量より質」</li> <li>▪ 「0.5の働き方」</li> <li>▪ 子育て期は50%でいい</li>   <li>▪ 蕪崎市は子育てに力を入れている</li>   <li>▪ 子育てする母親は「迷惑かけてしまう」とつい思ってしまうが、私たちの世代は「迷惑結構！」</li> <li>▪ 子育て中はとにかく休んで。地域の行事に出て地域に貢献しながら、学校でいい情報を集める。そのうち手が離れた時に帰ってくる</li>   <li>▪ 子育て支援センターにて、この時期(冬～春)に最も多い相談が「春入園・入学で引っ越すタイミングだが親子が住めるところがない」</li> <li>▪ 「本当は蕪崎に住みたい、環境を変えたくないけど出ていく」</li> <li>▪ 小学校以降の孤立、「パタンと人と接する機会が減る」</li> <li>▪ 地域と関わりたいけど「場がない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 祖父母世代も巻き込んだ地域支援が必要</li> <li>▪ 自分がしてほしかった支援を次世代へ</li>   <li>▪ 不登校の子供たちのフォローができる地域のちからが必要</li> <li>▪ 地域全体で支える構造</li> <li>▪ 親だけがみるのではなく、地域のおじいちゃん・おばあちゃんを巻き込む</li> <li>▪ 高齢者・子どもを巻き込んだ企業・地域事業</li> <li>▪ 働き方の長い循環を</li> <li>▪ 地域育ちの恩返し循環</li> </ul>

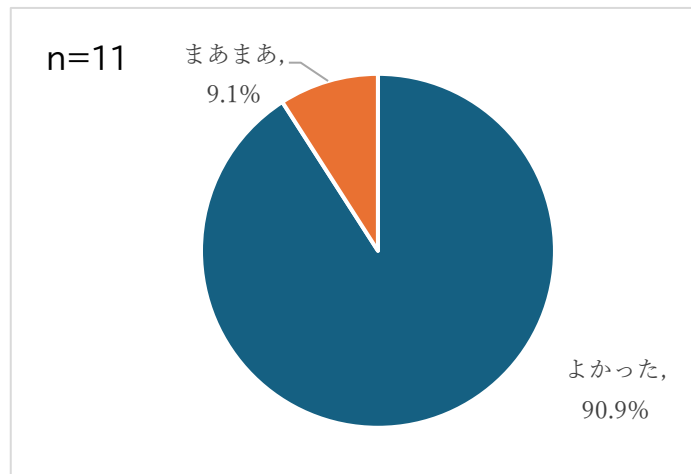
	困りごと	未来に向けたアクション
買い物	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 車で行けるので買い物は不便感じていない</li> <li>▪ Amazon もある</li> <li>▪ 東京の病院は遅くまでやっているところもあるし、ネット予約できるところもあるが、蕪崎市の病院は早い時間に閉ってしまう</li> <li>▪ 24 時間診療がない</li> <li>▪ 予約も 1 ヶ月先に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「ライドシェアみたいにおじいちゃん・おばあちゃんの送迎やりたい」</li> <li>▪ 若者×高齢者の支援(送迎・買い物)</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 情報のキャッチの仕方として子育て経験者から「私はこうだった」と教えてもらう</li> <li>▪ 市の広報とかで奨学金等金銭面の援助制度を仕入れている</li> <li>▪ 若者世代はネットで情報が簡単に入る。東京と比べたら蕪崎市はそうでもない。</li> <li>▪ 東京は X や Instagram で勝手に広告が入る。コンテンツ数も多いので、すぐ気づける。</li> <li>▪ 補助金情報を教えてくれる行政支援が必要</li> <li>▪ 蕪崎市に住み続けたいと思えるためには「自分のやりたいことがちゃんと見つけられる」かつ「その情報があふれている」</li> <li>▪ 情報があっても「自分ごととして捉えられない」ので情報の伝え方が重要では</li> <li>▪ 東京は SNS 広告で行政情報が届く</li> <li>▪ 山梨は「そうではない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 一般人でも声を出せる場が欲しい 「こういうのやってみたって発信できる場」</li> <li>▪ 「あの時してほしかったことを次の世代にしてあげたい」</li> <li>▪ 地元で活動している人を伝えたい</li> <li>▪ 中高生に希望を持たせたい</li> <li>▪ ワクワクする情報発信</li> </ul>

	困りごと	未来に向けたアクション
Uターン Uターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>Uターン理由は「両親の体調不良」</li> <li>本当は東京でキャリアを積みたかったけど帰ってきた</li> <li>仕事も親のために帰ってきて恩返ししたい気持ちがあるので頑張れる</li> <li>どこの地域でもそうだと思うが移り住んで何年経っても「よそ者」</li> <li>そのような状況でサークルに入ったがサークル自体も高齢化している</li> <li>東京に働きに来た理由は初任給が高いから</li> <li>蕪崎に実家に戻ろうと思えたのはトップファン</li> <li>地域との結びつきが少なからずあって蕪崎ってこんないいところがあったと思えた</li> <li>静岡から嫁に来て頼れるところがなかった「リタイア組」</li> <li>そのときに出会った「メンター」が良かった</li> <li>蕪崎に来る前は大好きな仕事をしていた</li> <li>子育て支援で「にらちび」に救われて恩を返したくて働いている</li> <li>小学校以降になったらたと自分から人とかかわる機会が減ってしまった</li> <li>地域の人とかかわりたいという気持ちが一層あるが、そのような場がないのがもどかしい</li> <li>自身のUターン理由は「住みやすいからというよりも、両親や祖父母を見るため」 「将来自分が蕪崎市で生活して子育てして、、、と考えて帰ってきたわけではない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般人が何かやりたいと思ったときにそれを発せられる場所があれば</li> <li>活動場所が必要</li> <li>「そこに行けば〇〇さんに会える」というのも重要</li> </ul>
働き口	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元好きなので「初任給よければ蕪崎が良かった」</li> <li>地域活性化、若者世代・学生などの支援をする「トップファン」を活動中</li> <li>高校生たちのやりたいことを実現する「チャレンジハイスクール」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き口が少なくても自分で仕事を作るという発想</li> <li>「いくらでも価値作っていける時代」だと思う</li> <li>女性の自由度と満足度を高める社会</li> <li>若者チャレンジ支援(カフェ経営など)</li> </ul>

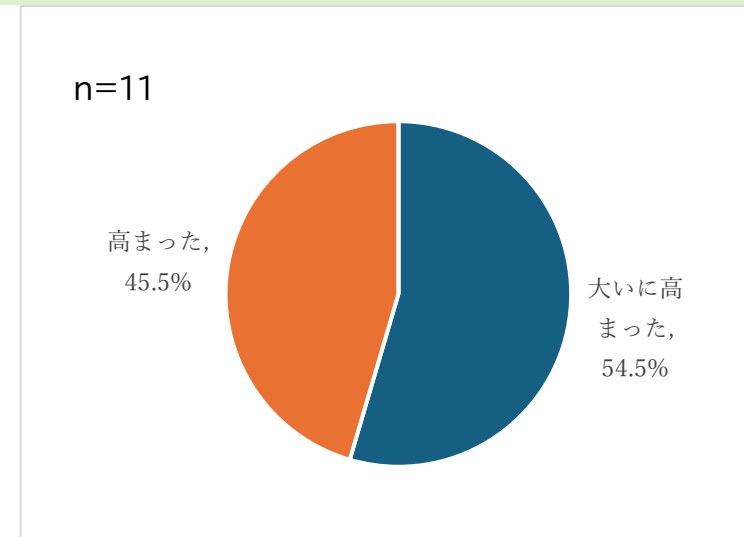
	困りごと	未来に向けたアクション
就職	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 就活中だが「地元就職情報ない」</li> <li>▪ 「やりたいことが見つからない」</li> <li>▪ 高齢者も「毎日同じ生活でつまらない」</li> <li>▪ 居場所はあるが「情報が届いていない」</li> <li>▪ 韮崎市は「子育てできるけど働けない」</li> <li>▪ 公務員・教員は戻るが、経営・専門職は戻れない</li> <li>▪ 「働き口ないなって思う」</li> <li>▪ 「大学生への支援ちょっと遅い」</li> <li>▪ 進学時に支援があれば「責任持って帰ってこようって思考に動く」</li> <li>▪ 「地元の就職情報あんまり得られない」</li> <li>▪ インターン情報まとまってない</li> <li>▪ 子ども3人とも県外就職</li> <li>▪ 「学んできたことを生かせる職がない」</li> </ul> <p>習い事送迎バスがあれば女性はもっと働ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 中高生の地域との繋がりを作る</li> <li>▪ 若い世代が戻れる循環</li> <li>▪ ただし介護・給料・情報不安を解消する必要</li> </ul>

共通して出た困りごと	共通して出た未来に向けたアクション
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 介護と体力不安</li> <li>▪ 学童の硬直化</li> <li>▪ 小学校以降の孤立</li> <li>▪ 住宅不足</li> <li>▪ 働き口不足</li> <li>▪ 給与差</li> <li>▪ 医療アクセス</li> <li>▪ 情報発信不足</li> <li>▪ 大学生支援遅れ</li> <li>▪ 不登校支援不足</li> <li>▪ 福祉はお金にならない問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 地域食堂</li> <li>▪ 人材バンク</li> <li>▪ 送迎支援</li> <li>▪ 若者チャレンジ支援</li> <li>▪ 補助金サポート</li> <li>▪ 高齢者×若者連携</li> <li>▪ 情報発信強化(SNS・ショート動画)</li> <li>▪ 一般人が声を出せる場</li> <li>▪ 女性が「選べる」状態を作る</li> </ul>

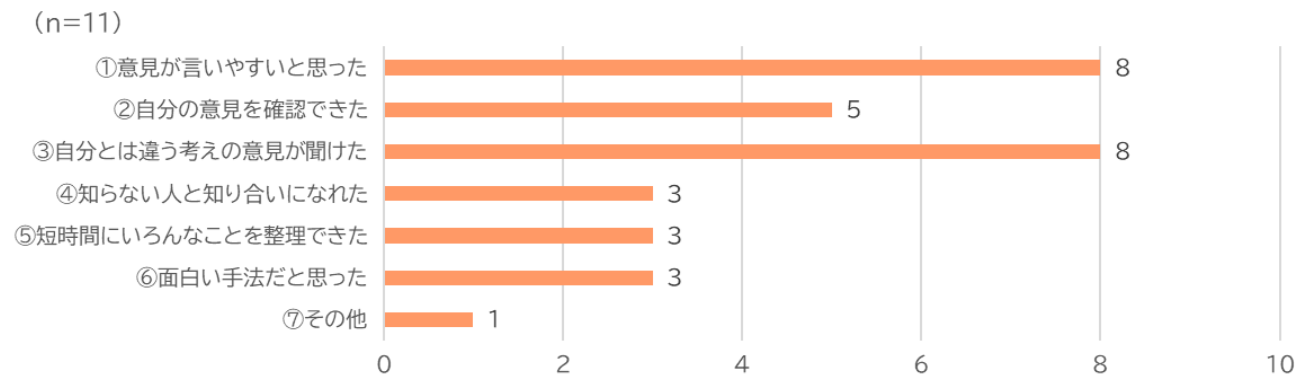
### 3 アンケート結果



女性懇話会満足度(複数回答)



女性懇話会参加によるまちづくり参画意欲の変化(複数回答)



女性懇話会の手法について(複数回答)

## 言いそびれたこと・今後の要望など

- 女性だけでなく男性も働きやすい子育てサポートをしたいです。
- 様々な意見、大変参考になりました。今日お集まりの方々以外に、より草の根の声(若い女性、大学生、中高生)ママ、中高年の本音を集める分散した方法はないかな、...とも思いました
- やりたいことを形にできる地元→地元の人で地元力高める！幸福度にも！何か事業をやってる人だけでなく地域の人が学校に来てたらビジョンが広がるかも、...
- この様な会を時々開いてほしいです。
- 今まで、誰に話したらいいだろう、どこで発言したらいいだろうと思っていたことが今日、言葉に出来て良かった。私の知り合い(蕪崎在住)が娘さん家族に蕪崎に帰ってきて欲しいと思っているが、旦那さんの就職先がないと困っていたので、女性だけでなく、大黒柱の働き口も移住の大きな問題だと思った。
- 教育に関することをベースに女性の子育てが考えられるといいなと思いました。女性の妊娠・出産・育児と並行して自身の心身の健康はずっとテーマだと思います。そこに夫婦のこともからんでくるのでそのサポートもできたらと思います。
- このメンバーでもう一度集まり、何かを始めよう！
- 車社会だとタクシーの利用需要低い。→市を提携して月定額等でタクシーよりも手頃な価格で子供高齢者の送迎支援制度つくれないか？
- 私は自分の祖母と同世代の高齢の義母と同居し、今後の介護が不安で、子供2人は学校が遠いので毎日送迎が必要で(こういう送迎サービスがあるといいです(^\_^))、子供の習い事で週4日は夜9時頃まで送迎が必要。昼は仕事しており、とにかく家族のための時間でいっぱいいっぱい何かしたいと思っても来そうにないというのが本音です。今回のように自ら動ける力のある方々ばかりで、何も力の内自分のような立場の人が集まれる場があったら良いと思いました。それでも参加できたことで蕪崎にすごい方々がたくさんいるんだと知れてよかったです。こういう機械があったらまたはお話伺ってみたいです。ありがとうございました。
- ”蕪崎市が「住みたくなる市」になるために
  - 1 非認知能力保持者と認知能力保持者のバランスある雇用
  - 2 生命の源となる「性教育」を、小中学校を中心に学校教育で実施
  - 3 経済的自立は男女ともに精神的自立に繋がる。非正規雇用の7割は女性、3割男性という現状だが、瀬式雇用にシフトする制度を強化して欲しい。”

